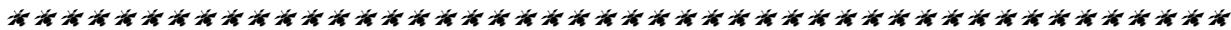




とつか 2019年8月会報 第298号

- 国際会長(IP) Jennifer Jones (オーストラリア)
- 2019 主 題 “Building today for a better tomorrow”
- スローガン “On the MOVE!!” 「さぁ動こう!!」
- アジア太平洋地域会長(AP) 田中 博之 (東京多摩みなみ)
- 主 題 “Action!” 「アクション！」
- スローガン “With Pride and Pleasure” 「誇りと喜びを持って」
- 東日本区理事 (RD) 山田 敏明 (十勝)
- 主 題 「勇気ある変革、愛ある行動！」 “Innovation with courage, action with heart!”
- 副 題 「みんなで力を合わせて、1・2・3」 “Hop, Step and Jump with all Y'smen”
- 2020 湘南・沖縄部部長(DG) 森田 幸二郎(沖縄)
- 主 題 「ワイズを社会に広める基盤の再構築をする」
- クラブ会長 浦出 昭吉 「メネットの支援に感謝し、30周年に向けてさらに仲間を！」
- 副会長 吉原 訓 書記 加藤 利榮 会計 岡 進
- メネット事業 吉原 和子 担当主事 瀬戸 俊孝



会員ひと言

～「お十夜」法要～ 若木 一美



「お十夜」法要、お聞きになったことありますか？ ワイズのみなさまには恐らく馴染みのないコトバ・行事だとは思いますが…。

当初、京都の真如堂（真正極楽寺）という天台宗のお寺で行われていた十夜法要を鎌倉・浄土宗天照山蓮華院光明寺の第九世観誓祐崇

上人が宮中に上り浄土の法門を後土御門天皇に進講され、天皇の許しを得て、1,495年に国家安泰と国民の安寧の願いを託され、勅願所（天皇の祈願寺）として位置付けられ、「関東総本山」の称号を賜り、10月6日から15日の10昼夜にわたり、引声阿弥陀経、引声念仏により法要が営まれます。

今日に至る五百余年綿々と受け継がれ、現在では全国の浄土宗の多くの寺院で行われています。

光明寺では、10月12日から15日に行われ、10月14日の日中法要の導師を従兄弟がこの大役を務めることになりました。従兄弟は高校生の時に父親を亡くし、その後精進しこのほど十夜法要の導師を務めることとなった次第です。私も今年の「お十夜」は、特別の思いで 過したいと思えます。

…ということですが、ワイズの方では、横浜とつかクラブのれっきとしたチャーターメンバーの一員です…。

◎今月の聖句◎

そこで、イエスは言われた。「剣をさやに納めなさい。剣を取る者は皆、剣で亡びる。」

—マタイによる福音書26章52節—

暴力や武力で解決することを否定する御言葉です。イエスを捕えようとする人々に向かってイエスの弟子のペテロが剣を抜いて切りつけたのです。

それに対して、イエスが言われた御言葉です。

強調月間

CS

Community Service は地域奉仕活動を意味する。

私たちのクラブは、CS事業として毎年7月例会に招請するUniLeaf（大下利栄子代表）があり、本年も先だって実施しました（例会報告参照）。

この支援を始めて12年になります。2008年がその第1回でした。そして、今や湘南・沖縄部もクラブの要請を受け入れ、共に支援を続けております。

湘南とつかYMCAが展開する地域活動の良き伴走者として、この事業が、日本のワイズメン独自の活動ということも念頭に入れて…。

7月在籍者数		7月出席者数		出席率	ファン	B	F	B	F	CS・TOP・A S F	B A P Y	ロ	バ
メ	ン	メ	ン	92%	他	(円)		(g)		(円)	(円)		
メ	ネット	8	メ	ネット	2		0		0		0		0
			ゲスト				0		0				0
計	21	合	計	14	累		0		0		0		0

★強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う★

☆第1例会～総会～報告☆

浦出 昭吉

日時： 2019年7月6日 18:30～20:30

会場： 湘南とつかYMCA1階ホール

出席者：(ゲスト) UniLeaf代表大下利栄子様・金石万希様
(ビジター) 佐藤節子様・古田和彦様・千葉裕子様
(メン) 岡・加藤・柴原・鈴木・瀬戸・土方・吉原・若木・浦出
(メネット) 加藤・吉原・若木 計) 17名



ワイズ年度始め、恒例の総会に、例年のように多彩な顔ぶれの皆さんが参加され、定刻、開会点鐘、セレモニーの後は久方振りの瀬戸ウェルネス主任によるコグニサイズ、思い切り体をほぐしてお食事…、心尽くしのお弁当の美味しかったこと…、申すまでも

ありません。終わって、本日のメインの一つ、総会が始まりました。後見人には、親クラブからわざわざお出でいただいた古田会長と厚木の佐藤直前部長のお二人、そして加藤書記が議長役に…。配布資料を参考に、前年度事業・会計報告と今期事業予定、そしてこの1年、また宜しく…と、古田会長からギャベルが手渡されて所信表明、佐藤さんからお祝辞を頂き、閉式の辞をもって拍手のうちに終わりました。またまた皆様のお力添えを頂きます。

さあ いよいよ 2つ目のメイン、大下さんの卓話です。 ➡

『1年間の活動について』のテーマで、質疑等も受けながらたっぷり40分、お持ちいただいた透明点字シート付きの絵本をかざしながらの熱弁に(写真)、思わず身を乗り出し、聞き入りました。「今年でこの活動を始めて11年目、先ごろ蔵書1,000冊となり、ささやかながらそのお祝いの会を開き、若木様にもお出でいただいた。ここに持参した初期作成のモノと現在のモノを比べ、感無量だ。今後は絵本の質の向上、利用者への貸出し支援など、ユニリーフの理念とシンボル絵本を広めることを活動の柱とし、メディアや各種団体の広報により、全国からボランティアの希望がある喜びや地元高校の9年にわたる活動への思い、出会う人の輪を広げ、まさにLeaf(1枚の葉)がUnited(融合一体化)された流れを報告としたい…。」(拍手) 支援金を贈呈し、記念撮影に収まり、閉会点鐘しました。



☆第1回部評議会から☆ 加藤 利栄

7月27日(土)15時から標題の会が関内中央YMCA・801号室において開かれ、浦出会長と共に出てきました。

出席者は、現・直前・次期の各部長を始め部役員ら24名、開会礼拝・部長挨拶の後、提議事項の議事に入りました。

前年度事業・収支決算と監査報告や今年度事業計画・予算及びエクステンション委員会活動報告など5議案が提議され、いずれも活発な質疑を経て、承認又は同意されました。

その中で、論議的となったものの一つに、席上配布の部報第2号に那覇の玉城会長が「クラブ報告」の中で述べている『クラブ活動の休会に関する件』です。記事からは、期限が述べられていない等、詳細な内容は詳らかではないが、部としてはこのまま見過ごすのもいかがかと考えられ、引き続き「注視していく要あり。」となったものの、一日も早く復帰しうよう働きかけることが必要と感じました。

あと、「第7回横浜YMCA専門学校日本語スピーチコンテスト」や「第9回You & Iコンサート」のお知らせなどが配布資料を参考にアピールが担当者からそれぞれなされ、また久保会長から、その後の‘つるみ’の活動の様子が報告されて拍手を浴び、会の終わり近く、監事講評の際には、会場に掲出されていた部旗が、監事の取計らいで、元部長から現部長に手渡されるなど、通常の評議会とはやや趣を異にしたムードが漂い、17時、定刻どおりに閉会となりました。

今回は手作りの△名札が各自の机上を飾り、また予めお茶のボトルが配られるなどの細かき配慮が見られました。

☆部長公式訪問例会報告☆ 浦出 昭吉

日時： 2019年7月27日(土) 11:00～13:00

会場： 湘南とつかYMCA1階ホール

出席者：(ゲスト) 永塚嘉子様(とつかYウェルネススタッフ)

吉田恵美子様(鎌倉クラブ入会候補者)

(ビジター) 森田幸二郎部長様・伊藤康一部会計様

千葉様・田中様・三上様(以上鎌倉クラブ)

(メン) 岡・瀬戸・加藤・鈴木・土方・吉原・若木・浦出

(メネット) 吉原 計) 16名

森田部長からのご指示により、上記会合が鎌倉クラブと合同で開かれました。食事を挟んで、開会礼拝・出席者の紹介・コグニサイズ・部長と部会計のご挨拶、永塚スタッフの「第25回ボランティアinタイ・東日本区メネット委員会による‘子どもたちに絵本を’プロジェクト」報告、千葉会長からアジア大会報告…と、短時間ながら、大変中身のあるプログラム、終りに記念撮影に収まり、閉会点鐘となりました。



【特別寄稿】

☆ワイズにおけるクラブと国際☆



元区監事 鈴木 茂 (横浜つぎクラブ)

私は今年の6月末までの2年間、東日本区の監事の役を務めました。この間、区の役員会、常任役員会、各種委員会・研修会等に出席しました。多くの区役員や部長さん方

と親しくさせていただいたことは、私にとって貴重な体験になりました。そこで改めて、ワイズには実に様々な考え方や意見を持ったメンバーがいらっしゃるものだと感じさせられました。

区の役員会等に参加している人びとは概してワイズの活動に熱心で、区・部のみならず国際や地域(アジア・太平洋地域など)の動きにも深い関心を持っています。他方、私の周りにはワイズの活動には比較的熱心ではあるものの、クラブの行事参加で事足りると考え、国際や区・部の活動にはあまり関心を示さない会員も意外に多く見受けられます。同じ会員であっても、ワイズに対する意識の温度差がかなり大きいのです。

ワイズに様々な価値観や信条を持つ会員がおられるのは、当然のことだと思います。会員一人ひとりの性格や考え方が異なるからこそ、ワイズの活動が活性化され、豊かになります。その上で、ワイズの活動はあくまでも国際協会加盟組織としての活動であることも忘れてはならないことでもあります。ワイズにおける国際協力を否定するのであれば、一般の親睦団体や地域奉仕団体と何ら異なることになりません。わざわざ国際会費や国際献金を納めて、国際協会につながる意味はありません。

もちろん私たちが所属クラブで、YMCA や地域に奉仕するボランティア団体として活動することだけでも、有意義かつ貴重なことであります。しかし地球規模での平和と共存が求められている今日、私たちが世界の志を同じくする仲間たちと連携して、助けを必要としている人びとに寄り添うことができれば、ワイズの活動はさらに豊かで、多くの人びとの共感と賛同が得られるものになるものと確信します。

(鈴木様、忙しい中、原稿をありがとうございました。)

アンジュ通信

施設長 相馬 良文

ワークサポートセンター「アンジュ」では、6月から7月にかけてスポーツに取り組む機会を持ちました。2020年の東京オリンピック・パラリンピックを控えてスポーツへの関心が高まってきております。アンジュに通われている方々は、室内で過ごすことが多く、積極的にスポーツに接する機会はとても少ないのが現状です。6/11に舞岡地区センターの体育館で「ボッチャ」を体験しました(写真)。パラリンピックの競技種目でもあるボッチャは、激しい動きはありませんが、「陸のカーリング」とも言われ、チームで協力する楽しみがあります。

7/4には、新横浜にある横浜ラポールにて「ボウリング」を楽しみました。ボウリングは多くの方が経験したことであり、大会前から話題になっておりました。腕前は…(?)ですが、



楽しみながら体を動かすことができ、大満足でした。スポーツでの交流も続けていきたいと思っております。

☆アジア地域大会(仙台)に参加して☆ 有田 征彦



7月19日(金)~21日(日)、杜の都・仙台にて開催された第28回ワイズメンズクラブ国際協会アジア太平洋地域大会に参加しました。811名の国内外の参加者を集め、仙台国際センターを会場に、「Action! 前に進もう」をテーマに、①東日本大震災後の「復興」を確認する。②今後の「防災」について学ぶ。③ワイズで最も大事な「交流」をする、の3つのキーワードのもと、参加者全員の意識が高まった大会となり、特に次期大会の開催国・台湾からは150名が参加しました。また、数年前にアジア太平洋地域から離れた韓国からも参加があり、互いの友情を確かめ合う機会にもなりました。

大会のサブテーマ「復興」と「防災」、宮城県知事の村井嘉浩氏や危機管理教育研究所代表の国崎伸江氏の講演、さらにYMCAとワイズが取組み続けてきた東日本大震災の復興支援の報告が仙台YMCAの村井信夫総主事からありました。これらを受けて、2日目は被災地を巡る丸一日のツアーです。私は「福島を知る」コース(福島第一原発20km圏内)に参加しました。いまだに続く避難、バリエードの向こう側の帰還困難区域は、まるで時間が止まっているかのようでした。あの日から8年経って、被災地がどのように復興しているか、これからの課題は何か…を目の当たりにしてきました。

IPAPナイト(懇親会)では仙台ゆかりのアーティストのさとう宗幸さんのミニコンサートが行われ、名曲「青葉城恋歌」や復興応援ソングを聴き、復興への気持ちを新たにしました。心配された天候もなんとか守られ、ワイズメンズクラブのパワーが改めて感じられる熱い3日間となりました。

写真は、加藤ワイズの「長年の友」(と、お互いが呼び合う)森田恵三ご夫妻(京都ウエスト)とのスナップです。



☆YMCA だより☆ 担当主事 瀬戸 俊孝
 ‘命を守るために「安全」を考える’

横浜 YMCA では7月1日から7日までを安全週間として、改めて命の安全について学び、それぞれの施設における危険な箇所の有無などの点検を確認しております。

今年度は、7月1日(月)に横浜中央YMCAにスタッフが集い、「熱中症」について学びました。

近年は、異常気象の影響なのか…? 梅雨らしい梅雨も無く、豪雨災害も各地で発生し、熱中症による救急車等による搬送件数は、年を逐うごとに「右肩上がり」の現象が続いています。

私たちYMCAスタッフは、多くの方の命を預かる職員として、正しい知識と技能を身に付け、安全で確実な運営ができるよう努め、神様から与えられた命を守り・育むことをお約束し・伝えていきたい…と思っております。



☆今月の歳時記から☆

‘打水 うちみず’ と ‘残暑 ざんしょ’

‘打水’、夏の夕方、庭や門辺、路地などに水を打つこと、炎暑でくたびれた庭木や石畳は、見違えるように生々としてくる。打水は、砂塵を避け、涼を呼ぶために行うもので、風情がある。路地で、あやまって、水を人に掛けたりすることがある。打水してある道を歩くと清々しい。

水打って風鈴いまだ鳴らぬなり 虚子
 打水や萩より落ちし子かまきり 素十
 水打つやとべる子がへる孫がえる 万太郎

次に‘残暑’、立秋後の暑さのこと。「暑さ寒さも彼岸まで」といわれるように、九月半ばまでは、まだ厳しい暑さを感じる。朝夕、過ごしやすくなったため、かえって、暑さが身にしみる。八月下旬ともなると、子どもたちは、夏休みの宿題に忙しく、時には、母親の手を借りたり、古い新聞の天気欄を探したりもする。

草の戸の残暑といふもきのふけふ 虚子
 馬医者 of 残暑を飲んで歩きけり 碧梧桐
 一服の緑茶に残暑おさへたり 立 ㊦



☆8月・9月のこよみ☆

- > 8/2~4 横浜 YMCA エイズ文化フォーラム
- > 8/10(土) スイフト墓参・山手外国人墓地・正午~
- > 8/11(月)~16(土) 横浜 YMCA 休館
- > 8/20 (火) 第2例会・湘南とつかYMCA 205号室
- > 8/22 (木) 合同納涼会・ロイヤルホールヨコハマ・18:30
- > 8/24 (土) 委員研修会・関内中央YMCA・13:00
- > 9/3 (火) YMCA-Y's 協議会・関内中央YMCA・19:00
- > 9/7 (土) 第1例会・湘南とつかYMCA ホール・18:30
- > 9/17 (火) 第2例会・湘南とつかYMCA 205号室
- > 9/23 (月) YMCA 会員スポーツ大会
- > 9/28 (土) You & I コンサート・都筑公会堂ホール

~8月会合のご案内~

- ① 第2例会
 8月20日(火) 18:30・205号室
 納涼例会の2日前ですが、お集まりください。
- ② 合同納涼例会(第1例会振替え)
 8月22日(木) ロイヤルホール・ヨコハマ
 △ 18:30 開会
 △ 会費: 5,000円

~HAPPY BIRTHDAY~
 瀬戸真紀さん 8月16日

【掲示板】 会長

◎ 第26回横浜YMCA エイズ文化フォーラム

今年で26回、横浜駅西口のかながわ県民センターが会場です。一度も訪れたことのない方は、是非一度お出掛けになってみませんか…。大ホールでの講演会もさることながら、各教室に分かれてのセッション、3日間にわたる隙間の無いこれらプログラムは、どれ一つとっても、聴き応え・見応え十二分です…。

◎ 合同納涼例会の開催について

ア 8月22日に横浜クラブの呼び掛けで行われる納涼合同例会です。

イ 22年間続いた加藤ワイズ宅での納涼例会が、本年はワン・パスとなったことでもあり、この合同納涼会に是非ご参加いただければと思います。

ウ 2部に分かれ、1部・例会、2部・祝会の予定です。

◎ 委員研修会について

日ごろ、運営委員や事業委員をされている方々を対象に開催される研修会、該当される方は是非ご参加を…。

◎ 「ユニリーフ」のURLです。

支援の状況が記載されています。

<http://unileaf.org/5695>



「ニュース&お知らせ」をクリック

(後記)

アジア大会も終わり、本誌がお目に入る頃には夏本番が…。

(TK)